

第3次千葉県青少年総合プラン 令和4年度事業評価シート

事業NO	120
------	-----

事業名	学校を核とした県内1000か所ミニ集会		
担当課・室・班名	教)生涯学習課	問合せ先(電話番号)	4069

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	5	基本方策	①家庭・学校・地域の連携					
事業内容	地域住民の声を学校運営に生かす開かれた学校づくりや学校を核とした地域コミュニティの構築を目的として、原則として県内すべて(千葉市を除く)の公立小・中・義務教育・高・特別支援学校等を会場に、学校職員と保護者や地域住民が学校・家庭・地域の様々な教育課題について、膝を交えて本音で語り合う。									
当初予算額(千円)		100		88		0		0		0
決算額(千円)	H30年度	76	R元年度	77	R2年度	0	R3年度	0	R4年度	0
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○		○		○		○	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果(4年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員や教育庁内職員等が各地区のミニ集会を参観し、ミニ集会の現状を把握するとともに、報告書を作成し参観校に送付した。 ・県ホームページに教育庁内職員が参観を行った実践例を掲載した。

(2)事業の成果(4年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ集会の実施については、新型コロナウイルス感染症の影響により、千葉市を除く県内全ての公立小・中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校において実施された割合は31.7ポイント増加の83.4%だった。(開催校数:小学校529校、中学校258校、高等学校110校、特別支援学校34校、義務教育学校2校 参加者数:37,686人) ・実施した学校のうち、地域とともに企画運営している割合は、前年度に比べ1.6ポイント減少の70.7%となったが、コロナ禍においても、今まで築き上げてきた学校と保護者、地域住民が一体となった、地域コミュニティの構築の醸成が図られており、連携体制は維持されている。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等(4年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、コミュニティ・スクールと同体系の施策に位置付いている。コミュニティ・スクールとミニ集会の位置付けやミニ集会の方向性について検討していく必要がある。

4 関連指標

関連指標	[学校と地域との連携] 教育課題について語り合う集いを地域住民と連携して企画・運営している学校の割合					目標	76.0%
	基準年(H29)	H30	R1	R2	R3	R4	
	66.7%	70.0%	73.0%	76.5%	72.3%	70.7%	

5 委員意見

--